

# 第6章 CコンパイラのインストールからCPU内蔵フラッシュROMの書き換えと実行まで 統合開発環境HEWとサンプルプログラムのビルド方法

納田 隆史, 鹿取 祐三

本章では付属基板の基本的な使い方として、使用するツールの入手方法、ツールのセットアップ、サンプルプログラムのビルド方法を説明する。ツールは評価版を使用するので、はんだ付け(ジャンパJPP1)済みの付属基板とUSBケーブル、そしてインターネットに接続できる環境をあらかじめ用意しておく必要がある。

(筆者)

## 1. 開発ツールの入手

本誌付属RX62Nマイコン基板(以下付属基板)を利用するにあたり、必要なツールが三つあります。CPUに内蔵されているフラッシュROM書き換えに必要なFlash Development Toolkit(以下FDT)、C言語で記述したプログラムをRXが実行できる機械語に変換するRXファミリ用C/C++コンパイラ・パッケージ(以下RXコンパイラ)、そして付属基板をリモート接続して実機デバッグを可能にするシリアル接続HEWモニタ(および関連ファイル)です。すべてWeb上から無料で入手できるので、まずは各

ツールを手に入れましょう。

### ● FDTとRXコンパイラのダウンロード

FDTとRXコンパイラは、ルネサス エレクトロニクス(以下ルネサス)のWebページから評価版がダウンロードできます。ダウンロードには「My Renesas」アカウントのログインIDとパスワードが必要なので、あらかじめ「My Renesas」への登録を済ませておいてください。登録作業は図1に示すルネサスのWebページのリンク「MY RENESASのご登録がまだのお客様」から行います。

「My Renesas」登録後、評価版ソフトウェアがダウンロードできます。ルネサス製フラッシュROM内蔵マイコンの、フラッシュROMに対し書き込みを行うためのソフ

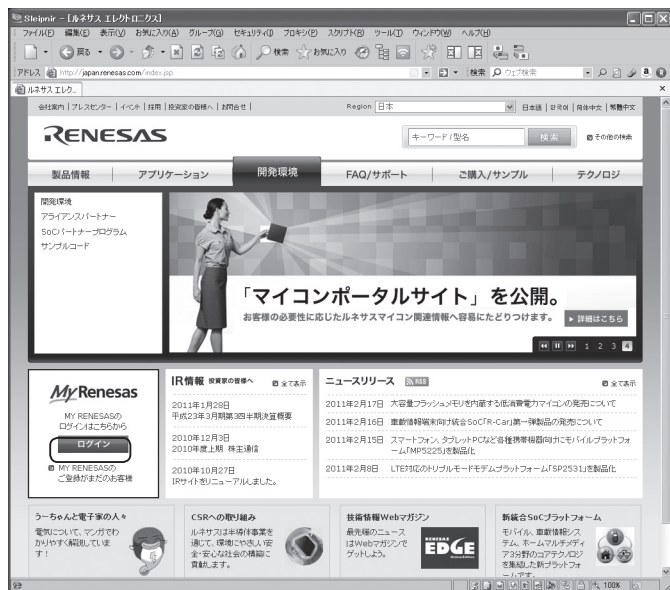


図1 ルネサス エレクトロニクスのWebページ  
(<http://japan.renesas.com/>)

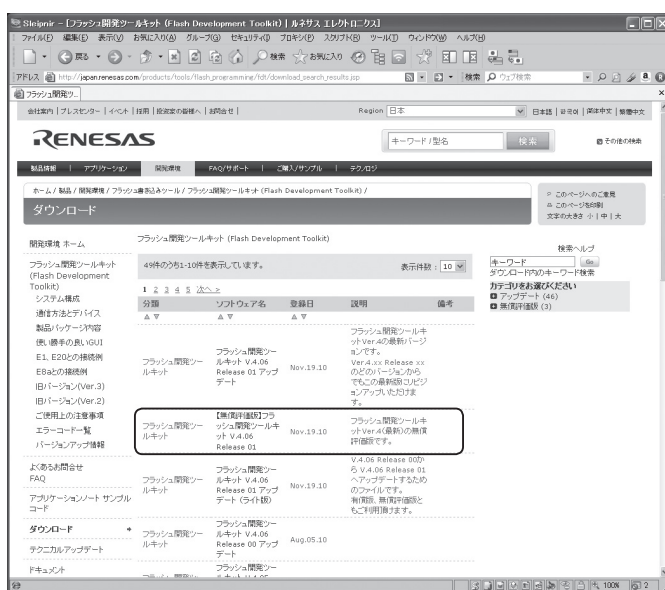


図2 Flash Development Toolkit (FDT) の入手先  
([http://japan.renesas.com/fdt\\_download](http://japan.renesas.com/fdt_download))